

障がい者福祉計画及び障がい福祉計画に関する アンケート調査 調査票 (B)

問 1 あなたの年齢をお答えください。(平成26年10月1日現在)

満

歳

問 2 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

1. 男性

2. 女性

問 3 あなたが現在お住まいの地区は、次のどこですか。(○は1つだけ)

地 区
1. 東・西条丁目
2. 北条丁目、有明町、元町、北本町、桜木、緑町、西川町
3. 日の出、かえで町、若駒、栄町、東町
4. 並木町、緑が丘、春日町、鳩が丘、東山町
5. 大和、南町、美園、駒園、志文町、志文本町、ふじ町
6. 上幌向南条丁目、上幌向北条丁目、幌向南条丁目、幌向北条丁目
7. 北村中央、北村栄町、北村赤川
8. 栗沢町本町、栗沢町南本町、栗沢町北本町、栗沢町東本町、栗沢町西本町、栗沢町幸穂町、栗沢町南幸穂、栗沢町北幸穂、栗沢町由良、栗沢町最上、栗沢町必成
9. 上記以外の岩見沢市内

問 4 あなたの身近(親族・知人・友人等)に障がいのある方、または介助が必要な方はいますか。(○は1つだけ)

1. いる

2. いない

問 5 あなたは、障がい者を取り巻く現状や問題点について、関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

1. 非常に関心を持っている

2. 多少は関心を持っている

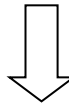
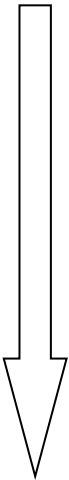
3. あまり関心がない

4. まったく関心がない

5. わからない

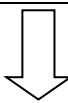
問6 あなたは、これまでに障がいのある方の手助け（小さなことでもかまいません。）をしたことがありますか。（○は1つだけ）

1. ある	2. ない
-------	-------



これまで手助けをしたことがなかった理由について、あてはまるものすべてに○印をつけて下さい。

1. 機会がなかったから	2. 手助けの仕方がわからないから
3. 面倒だから	4. 気恥ずかしさを感じるから
5. とくに理由はない	6. その他（ ）



問7 あなたは、障がい者に対する以下のサービス等を知っていますか。次のそれぞれの項目ごとに、あてはまるもの1つに○印をつけて下さい。

サービス等の種類	知っている	少し知っている	知らなかった
①居宅介護（ホームヘルプ） 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	3
②重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。	1	2	3
③同行援護 視覚障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスです。	1	2	3
④行動援護 知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動時に必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	1	2	3
⑤重度障害者等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービスです。	1	2	3

サービス等の種類	知っている	少し知っている	知らなかった
⑥生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。	1	2	3
⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑧就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑨就労継続支援（A型、B型） 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2	3
⑩療養介護 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。	1	2	3
⑪短期入所（ショートステイ） 在宅の障がい者（児）の介護者が病気の場合などに、障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービスです。	1	2	3
⑫共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。	1	2	3
⑬施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障がい者に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。	1	2	3
⑭児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。	1	2	3

サービス等の種類	知っている	少し知っている	知らなかった
⑮医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービスです。	1	2	3
⑯放課後等デイサービス 学校の授業終了後や学校の休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。	1	2	3
⑰相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言等を行うサービスです。	1	2	3
⑱意思疎通支援事業 聴覚、言語・音声機能の障がいのため、意思疎通を図ることに支障がある方に対し、手話通訳を行う方の派遣等を行うサービスです。	1	2	3
⑲日常生活用具給付事業 重度障がいのある方に対し、日常生活用具の給付を行うサービスです。	1	2	3
⑳移動支援事業 屋外での移動が困難な障がい者について、外出のための支援を行うサービスです。	1	2	3
㉑地域活動支援センター 障がいのある方が通い、活動の提供や社会との交流促進の便宜を図るサービスです。	1	2	3

問8 障がい者がさまざまなサービスを受けやすくするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(優先度の高いもの3つまで○)

1. 手続きの簡素化	2. 利用費の減額	3. 早朝・夜間などの対応
4. プライバシー保護	5. 回数・時間の増	6. 緊急時の対応
7. 気軽に相談できる窓口	8. 特にない	
9. その他 ()		

問 9 あなたは、障がい者に係わるボランティア活動に関心がありますか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------|----------------|----------|
| 1. 非常に関心を持っている | 2. 多少は関心を持っている | |
| 3. あまり関心がない。 | 4. まったく関心がない | 5. わからない |

問 10 あなたは、何らかの障がい者に係わるボランティア活動をしたことがありますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 11 あなたが今後、障がい者にかかわるボランティア活動をするのであれば、次のどのような活動をしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------|---------------------|-----------|
| 1. 家事の手伝い | 2. 話し相手 | 3. 外出時の介助 |
| 4. 買い物や手続き等の代行 | 5. 家や庭の手入れ | 6. 冬季の除雪 |
| 7. 行事やイベントのスタッフ | 8. 手話通訳 | 9. 点訳・朗読 |
| 10. 学習活動の相手や介助 | 11. スポーツ・趣味などの相手や介助 | |
| 12. 特にない | 13. その他 () | |

問 12 障がい者にかかわるボランティア活動を活発化させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(優先度の高いもの3つまで○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 情報提供や相談窓口の充実 | 2. 保険加入や交通費の実費支給 |
| 3. ボランティア教育の推進 | 4. ボランティア同士の交流の促進 |
| 5. 労働時間の短縮や休暇制度の整備 | 6. ボランティア組織の育成と支援 |
| 7. ボランティアに対する社会的評価 | 8. わからない |
| 9. 特にない | |
| 10. その他 () | |

問 13 あなたが普段の生活で、障がい者への配慮や理解が不足していると感じたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------------|--------------|-------------|
| 1. 地域行事・地域活動への参加 | 2. 教育の機会 | 3. 仕事や収入 |
| 4. 情報の収集・発信 | 5. 資格等の取得 | 6. 店などでの応対 |
| 7. サークル・スポーツ活動への参加 | | 8. 近所づきあい |
| 9. 周囲の目 | 10. 道路や建物の整備 | 11. 交通機関の利用 |
| 12. 考えたことがない | 13. 特にない | |
| 14. その他 () | | |

問 14 あなたの生活する地域での障がい者への理解度について、どのように感じますか。
(○は1つだけ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-------|--------|
| 1. 充分 | 2. おおむね充分 | 3. 普通 | 4. 不充分 |
| 5. かなり不充分 | 6. わからない | | |

問 15 地域住民と障がい者の相互理解を深めるために、どのようなことが必要だと思われるか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------------------|----------------------|---------|
| 1. 交流の機会の増加 | 2. 行政などの啓発 | |
| 3. 地域行事などへの障がい者の参加に対する配慮 | | |
| 4. ボランティア活動の活発化 | 5. 障がい者自身の積極的な地域への参加 | |
| 6. 学校等における福祉教育 | 7. わからない | 8. 特にない |
| 9. その他 () | | |

問 16 障がい者が地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 在宅で医療ケアなどが適切に得られること | |
| 2. 障がい者に適した住居の確保 | |
| 3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること | |
| 4. 生活訓練等の充実 | 5. 経済的な負担の軽減 |
| 6. 相談対応等の充実 | 7. 地域住民等の理解 |
| 8. コミュニケーションについての支援 | |
| 9. その他 () | |

問 17 障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. 通勤手段の確保 | 2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮 |
| 3. 短時間勤務や勤務日数等の配慮 | 4. 在宅勤務の拡充 |
| 5. 職場全体での障がい者に対する理解 | |
| 6. 職場の上司や同僚に障がいの程度や状況についての理解があること | |
| 7. 職場で介助や援助等が受けられること | |
| 8. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携 | |
| 9. 企業ニーズに合った就労訓練 | |
| 10. 仕事についての職場外での相談対応、支援 | |
| 11. その他 () | |

問 18 障がい者の余暇をさらに充実させるために、必要と考えられることはなんでしょうか。(優先度の高いもの3つまで○)

- | | | |
|------------------|--------------------|------------|
| 1. 利用できる施設や場所の充実 | 2. 仲間が増える | 3. 健康 |
| 4. 情報の入手 | 5. 介助者・ボランティアなどの援助 | 6. 自身の意欲 |
| 7. 経済的な余裕 | 8. 指導者の充実 | 9. 十分な自由時間 |
| 10. 周囲の理解 | 11. 交通・移動手段の充実 | 12. 特にない |
| 13. その他 () | | |

問 19 障がいの原因の早期発見、早期療育を充実させるために、もっとも有効だと考えられることを教えて下さい。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 健康診断などの充実 | 2. 医療機関の機能の充実 |
| 3. 療育機関の充実 | 4. 病気や障がいに関する知識などの普及 |
| 5. 関係機関の連携の強化 | 6. 利用できるサービスなどの情報提供 |
| 7. 早期受診のための啓発 | 8. わからない |
| 9. 特にない | |
| 10. その他 () | |

問 20 今後の岩見沢市において、どのような機能を持つ福祉施設が増えていけば良いと思いますか。(優先度の高いもの3つまで○)

- | | | |
|------------------------|----------------------|-----------|
| 1. 障がい者相互の交流の場 | 2. 市民との交流の場 | 3. デイサービス |
| 4. 就労支援・職業訓練 | 5. 作業所など、就労の場 | |
| 6. リハビリテーション | 7. 日常生活の技能訓練 | |
| 8. 社会生活の技能訓練 | 9. 障がい者福祉に関する相談・情報提供 | |
| 10. ボランティア活動の拠点 | 11. グループホーム | |
| 12. ショートステイ | 13. 長期的な入所施設 | |
| 14. 急な利用に対応できる一時的な入所施設 | 15. 特にない | |
| 16. その他 () | | |

問 21 今後の障がい者福祉について、あなたはどのように考えますか。(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 障がい者福祉限定の施策の充実ではなく、市全体の施策の中で総合的に進めるべき。 |
| 2. ボランティア活動や地域福祉活動など、財政負担の少ない施策を充実させるべき。 |
| 3. 多少の財政負担を伴っても、必要な障がい者福祉施策は行うべき。 |
| 4. 障がい者福祉施策を最優先とすべき。 |
| 5. わからない |
| 6. その他 () |

問 22 今後、岩見沢市では、どのような障がい者福祉施策に力を入れるべきだと思いますか。(優先度の高いもの3つまで○)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 生活に関する相談・支援体制の整備 | 2. 障がい者をサポートする人材の育成 |
| 3. 障がい者の権利擁護の推進 | 4. 在宅者へのサービスの充実 |
| 5. 施設利用者へのサービスの充実 | 6. 防災・防犯対策の推進 |
| 7. 障がいの原因となる疾病等の予防 | 8. 医療機能の充実 |
| 9. 健康に関する相談窓口・情報提供の充実 | |
| 10. 障がい児療育・教育体制の充実 | 11. 学校における福祉教育の充実 |
| 12. 障がい者への理解を深めるための啓発活動 | |
| 13. 障がい者雇用の促進 | |
| 14. 就労支援施設・職業訓練施設・作業所等の充実 | |
| 15. 障がい者の社会参加の促進 | 16. ボランティア活動の振興 |
| 16. 障がい者のスポーツ・文化活動等の振興 | |
| 18. 公共施設等のバリアフリー化 | 19. 住居等のバリアフリー化 |
| 20. 情報のバリアフリー化 | 21. 特にない |
| 22. その他() | |

問 23 最後に、市へのご意見、ご要望、伝えたいことなどがありましたら、ご自由に、お書き下さい。

調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。